

内製化による研修と外部研修のメリットデメリット

内製化による研修のメリット・デメリット

【内製型研修のメリット】

- ・ 育成に関する知見の蓄積や育成文化の醸成が期待できる
- ・ 社内の状況を十分勘案した内容にできる（経営方針との連動、自社事例の活用など）
- ・ 講師となる社員に成長機会を提供できる（教えることで学ぶ）
- ・ コンテンツの修正・変更が柔軟にできる
- ・ 費用が抑えられる

【内製型研修のデメリット】

- ・ 社内コストが増加する可能性がある
- ・ 社内講師の量と質の確保が難しい（講師育成が必要）
- ・ 我流による研修プログラムになってしまうリスクがある

外部研修のメリット・デメリット

【外部研修のメリット】

- ・ パッケージ研修であればプログラムが確立されており安心感がある
- ・ 自社の課題を踏まえたカスタマイズが可能な場合、実情にフィットしたものにできる
- ・ 自社に合った講師を選定できる
- ・ 社内の人員の負担が軽減できる
- ・ プロの知見やプレゼンテーションを学ぶことができる

【外部研修のデメリット】

- ・ 育成に関する知見がたまりにくい
- ・ パッケージ研修の場合、用いられる事例が自社に合う内容ではない場合がある
- ・ コンテンツの修正・変更が柔軟に対応できない場合がある
- ・ 相応の費用を要する